

令和元年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 板山 浩一

○ 令和元年度重要事業

事業名	子育て支援の推進
目標	<p>幼児期の教育・保育サービス等の供給量の見込み及び確保の方策等を示す第2期子ども・子育て支援事業計画を策定します。</p> <p>妊産婦が安心して育児に臨めるよう、母子保健推進員が訪問し相談支援を行う「産前・産後サポート事業」を新たに実施します。</p>
年度末達成状況	<p>「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定するとともに、産前・産後サポート事業として、母子保健推進員による初産婦、生後6～7か月児への家庭訪問など、出産・育児の相談支援を行いました。</p>
自己評価	<p>「第2期子ども・子育て支援事業計画」に掲げる取組を推進するとともに、引き続き、母子保健推進員と連携を図りながら、妊娠から子育て期の切れ目のない支援体制の強化に取り組みます。</p>

事業名	健康寿命の延伸
目標	<p>生活習慣病の発症及び重症化予防など、健康増進の総合的な推進を図る「第2次健康増進プラン」を策定し、市民の健康寿命延伸を目指します。</p> <p>国民健康保険事業において、特定健診の受診率向上を図るとともに、新たにタブレット端末等を活用した保健指導を実施します。</p>
年度末達成状況	<p>健康寿命の延伸を図るため「射水市第2次健康増進プラン」を策定しました。</p> <p>受診勧奨や集団健診など、特定健診の受診率向上を図るとともに、必要な方に、タブレット端末等を活用し「見える化」による指導を実施しました。</p>
自己評価	<p>「射水市第2次健康増進プラン」に掲げる8つの行動目標「Let's トライ！IMIZUSHI 健康^{エイ}8」を普及し、自主的な健康づくりを推進するなど、引き続き、生活習慣病の発症及び重症化予防に重点的に取り組みます。</p>

事業名	高齢者の在宅医療・介護の連携強化
目標	<p>高齢者が、医療や介護が必要となっても自分らしい暮らしができるよう、「終活支援ノート」を活用した出前講座を開催するほか、在宅療養の高齢者を支援する専門職がリアルタイムで情報を共有し、連携を強化するための支援システム（ICTツール）を導入します。</p>
年度末達成状況	<p>「終活支援ノート」を活用した出前講座を開催し、住民意識の向上を図りました。</p> <p>また、在宅で医療、介護を受けている高齢者が安心した生活を送ることができるよう、ICTツールを用いた多職種連携支援システムを</p>

	導入し、多職種によるタイムリーな情報共有を図りました。
自己評価	今後も多職種連携支援システム（ICTツール）を活用し、在宅医療・介護の連携強化を図っていきます。